

(参考) 世田谷区医療的ケア相談支援センター Hi・na・ta (ひなた)
 広報用リーフレット

心配なこと、思うこと、たくさんあるよね

いよいよ退院
これから先が不安だ

きょうだいが
さびしがっていないかな

だれかと話したい
ちょっとひとつききたいな

緊急時や災害時
どうしたらいいだろう

まずはご連絡ください!

お問い合わせ先
 世田谷区医療的ケア相談支援センター
 (世田谷区委託事業)

世田谷区大蔵 2-10-18
 大蔵二丁目複合型子ども支援センター3階

電話 03-3749-6955
 月曜日～金曜日 8:30～17:00

FAX 03-3749-6956 24時間受付

開所日時 毎週火曜日、木曜日
 10:00～16:00

[access]

「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

世田谷区
 医療的ケア相談支援センター
 Hi-na-ta

医療的ケアについて
 なんでも相談できる窓口として
 困りごとや日々の思いを
 気軽に話せる場として
 ひとときゆくり ほっとできる場として
 訪れる人をあたたかく包み込むような
 そんな場所をみなさまと作っていきたく
 考えています

医療的ケア
 相談支援センター
 Hi-na-ta って
 こんなばしょ

Hi・na・ta は、医療的ケアを必要とするお子さま、
 ご家族の困りごとや心配なことの相談の場としてご
 利用いただけます。
 相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーター、
 保健師等の専門スタッフが話をうかがい、関係機
 関と連携してお困りの内容に応じたお手伝いをしま
 す。関係機関への相談が必要な場合、私たちもみな
 さまと一緒にその機関に同行して相談のお手伝い
 をすることもできます。
 また、相談だけでなく、ちょっとひと息休めるこ
 ともできます。ご利用は無料です。

おまちしております!

来所による相談はもちろん、電話や訪問での相談も
 できます。下記連絡先までお問い合わせください。

医療的ケア相談支援センター
 Hi-na-ta
 03-3749-6955
 《電話受付》月曜日～金曜日
 8:30～17:00

Hi-na-ta では
 このようなことをうけたまわります

どんなことも、何もないときも
 1. さまざまな相談への対応

医療的ケアとともに過ごす日々の中で、行き詰ま
 ってしまうことや不安なことがありましたら、ど
 んなことでもご相談ください。

安心して話すことが
 できた
 ひどりで悩まないで!
 解決のヒントが
 見つかった!

おうちでくらす
 2. 在宅生活を支える計画の作成

退院してご自宅で暮らすためのさまざまな準備を
 お手伝いしたり、必要なサービスを調整して、計
 画を作成します。また、お子さまの状態の変化等
 による、新たなご意向にも随時、対応いたします。

訪問診療 病院 訪問看護
 訪問リハビリ 医療機器 その他のサービス

You are not alone,
 we are always with you.

もしもの時に備える
 3. 災害時個別支援計画の作成

緊急時・災害時を想定し、事前に準備しておくこ
 とや、対応しておくことなどを一緒に確認いた
 します。
 お子さまの状態やお住まいの地域の状況を踏ま
 えて、関係機関とともに個別支援計画を作成するお
 手伝いをします。

よし!!

その他の取り組み

- 相談支援従事者の育成支援、施設への技術支援
 医療的ケアを必要とするお子さまとご家族についての
 相談支援を行っている相談支援従事者に対し、技術指
 導を行います。また通所先施設(児童発達支援・放課
 後等デイサービス・保育園等)にて、医療的ケアに関
 わる助言指導などを行います。
- 権利擁護
 医療的ケアを必要とするお子さまの様々な人権をまも
 るためのご相談に対応します。

茨城県つくば市：市本庁にコーディネーターを配置してワンストップ窓口を開設。災害対策にも注力

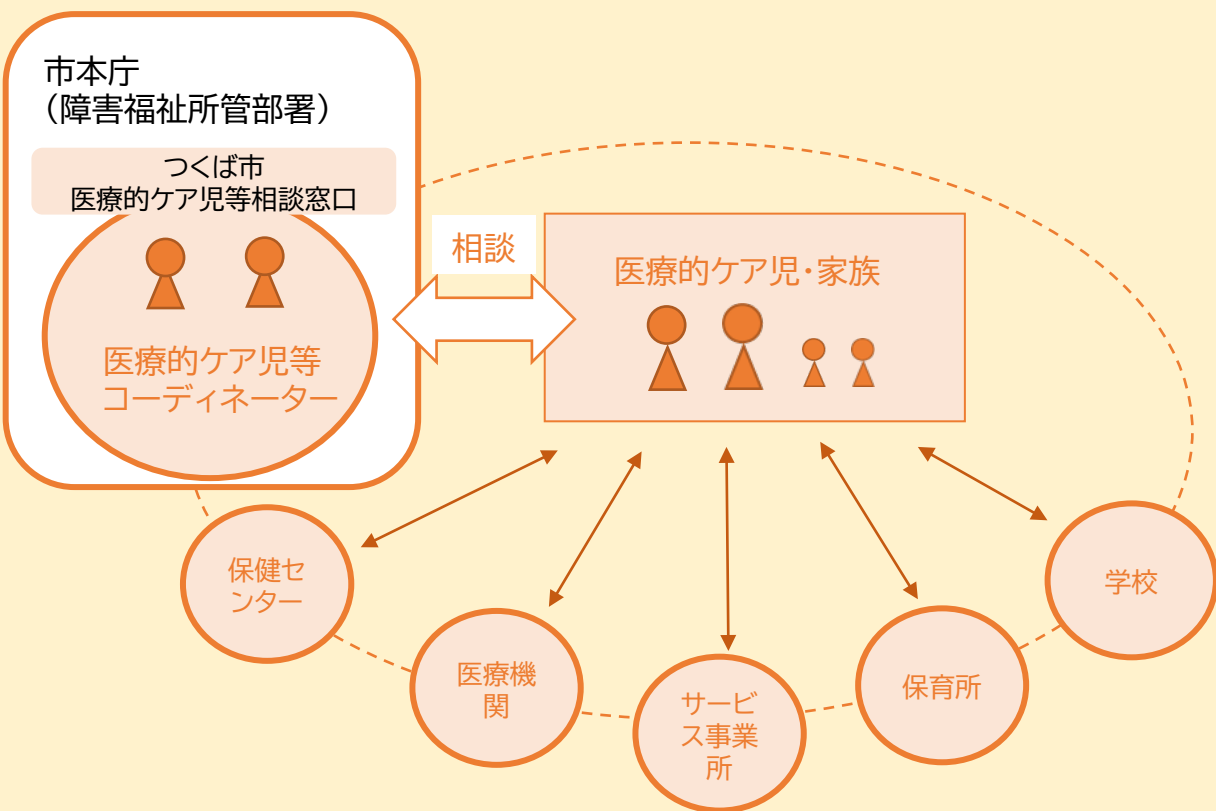
特徴

- 市本庁に「つくば市医療的ケア児等相談窓口」を開設
- 医療的ケア児等コーディネーターを2名配置
- 従来は保育や教育など相談内容に応じて分散していた相談窓口を一本化
- 災害時に備えた医療的ケア用品の保管にも対応するなど災害対策支援にも注力

自治体の概況

総人口（令和3年4月1日時点）	約24万人
18歳未満人口（令和3年4月1日時点）	約5万人
医療的ケア児数（令和元年9月時点）	約40人
医療的ケア児等コーディネーター配置人数	2人

体制



概要

つくば市医療的ケア児等相談窓口

活動開始年度	令和3年度
組織・機関の運営主体	市
活動拠点	1か所 (市本庁の障害福祉所管部署内)
活動人数	医療的ケア児等コーディネーター2名
支援件数	約5件 (令和3年3月から令和3年10月までの実績)
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談対応 ・ 関係機関等との連携 ・ 災害対策 等
組織・機関の特徴	医療的ケア児等コーディネーターとして保健師とリハビリ専門職の2名を配置

茨城県つくば市：市本庁にコーディネーターを配置してワンストップ窓口を開設。災害対策にも注力

主な活動

■相談対応

- ・ 医療的ケア児・家族および支援者からの相談に対応
- ・ 児の年齢や相談内容によらずワンストップで対応
- ・ 窓口への来訪や電話によって受け付けている
- ・ 必要に応じて自宅や支援先への訪問での相談に対応

■関係機関等との連携

- ・ 保健センター等関係機関との日ごろからの情報共有
- ・ 市内の関係部署で行われる医療的ケア児関連の会議への出席
- ・ 「協議の場」に出席し、情報共有や施策検討を実施 等

■災害対策

- ・ 医療的ケア児・その家族向けの自助を支援する「ツール」の作成・配布
 - 災害時対応ガイドブック・・・平時からの対策として必要な準備等を解説
 - 災害時対応ノート・・・事前に災害時に対応すべき項目を記入できるノート(医療的ケアの内容や緊急連絡先等)
- ・ 災害時に備えた医療的ケア用品の預かり
 - 医療的ケア用品約1日分程度を市本庁にて預かり、災害時には可能な限り市内避難所等へ届ける取組(つくば市災害時医療的ケア用品保管事業)

災害対策の取組について

- ✓ 相談窓口の開設に合わせてツールを作成
- ✓ 作成過程では危機管理部門とも連携し、医師や訪問看護師といった支援者にも意見を求めた。また、当事者にも目を通してもらい、記入の負担が大きすぎないか等も確認
- ✓ 市内の基幹相談支援センターには、医ケア児家族によるツールの活用を支援してほしい旨依頼

活動の成果

※窓口設置から日が浅いため、「期待される成果」を含めて以下のとおり

- 医療的ケア児家族からの相談にワンストップで対応できる窓口を確保
- 支援者に対する対応窓口の明確化・一本化
- 関係機関および市内関係部署間における情報共有や連携の促進
- 災害対策の重要性の周知(支援者も含めて)

活動に係る課題

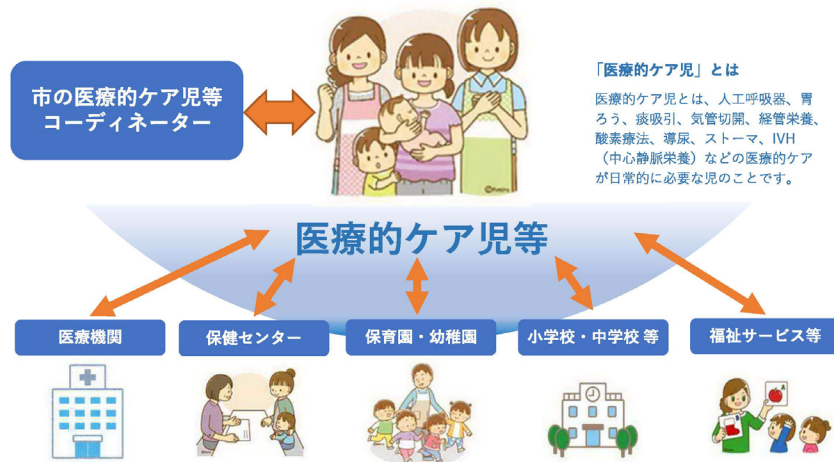
- 相談窓口の活動として期待されていることの明確化
- 市内の関係機関との連携強化
- 他の医療的ケア児等コーディネーターとのネットワーク形成
- 医療的ケアを必要としている児の全数把握

自治体における今後の施策展開方針

- 地域の療育施設の中核的役割を担う、児童発達支援センターを設置することを予定
- 市内の保育部門、教育部門と連携し、医療的ケア児の保育所・幼稚園での受け入れ体制整備を進行中

つくば市医療的ケア児等相談窓口 ご案内

つくば市では「医療的ケア児等コーディネーター」を配置しています。ご自宅で何らかの医療的ケアを行っているお子様とご家族が、生活する上で必要な各種サービスの紹介やご相談に応じています。



就園・就学などライフステージの変化の際に、必要な支援をスムーズに受けられるようなお手伝いや、災害に備えた医療的ケア用品の保管、「医療的ケアの必要な方と家族のための災害時対応ノート」作成のサポートもいたします。相談等をご希望の方は、下記連絡先へお問い合わせください。

つくば市災害時医療的ケア用品保管事業

医療的ケアを日常的に必要としている方を対象に、医療的ケア用品約1日分程度を市役所にてお預かりし、可能な限り、災害時に可能な限り市内避難所等までお届けする事業です。

医療的ケアの必要な方と家族のための 災害時対応ノート

災害時の備えとして、普段必要としている医療的ケアの内容や、災害が起こった際の避難の計画、電源の確保方法等を記入し、いざという時に役立てていただくものです。

災害時対応ガイドブック

災害時に「自助」の力を発揮するためのヒントを掲載しています。災害時対応ノート作成のご参考にしてください



記入の仕方など分からないことがありましたらご相談ください



北海道札幌市：多職種からなる支援チームが医ケア児受入れについて事業所等へ専門的な助言を提供

特徴

- 医療的ケア児を受け入れている事業所等に対して助言・指導を実施（札幌市医療的ケア児等支援機関サポート医師配置業務）
- 医師だけでなく看護師や相談支援専門員等が相談内容に応じて多職種で対応
- 1回の相談に対して複数回現場を訪問するなど手厚いサポートを提供

自治体の概況

総人口（令和3年4月1日時点）	約196万人
18歳未満人口（令和3年4月1日時点）	約26万人
医療的ケア児数（令和2年9月時点）	約300人
医療的ケア児等コーディネーター配置人数	0人

体制

事業を受託する医療法人 多職種からなる支援チーム



依頼に応じてサポートを提供



概要

札幌市医療的ケア児等支援機関サポート医師配置業務

活動開始年度	令和2年度
組織・機関の運営主体	医療法人 稲生会
活動拠点	1か所
活動人数	相談内容に応じて複数名のチームで対応
1年あたりの支援件数	72件
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケア児を受け入れる事業所等へのサポート ・ 新たに受け入れようとする事業所等へのサポート ・ 新たに医療的ケア児を受け入れる事業所受け入れた事業所等のフォローアップ 等
組織・機関の特徴	相談内容に応じて医師や看護師、相談支援専門員等がチームを組んで対応

北海道札幌市：多職種からなる支援チームが医ケア児受入れについて事業所等へ専門的な助言を提供

主な活動

※障害福祉サービス事業所、学校、保育所等

■医療的ケア児を受け入れる事業所等(※)へのサポート

- 多職種(医師、歯科医師、看護師、PT、OT、ST、社会福祉士等)からなる支援チームによる医療的ケアや医療機器、疾患等に関する助言や情報提供
- 医療的ケア児のケアや遊び、抱っこの仕方、姿勢保持等に係る技術的な指導や助言
- 医療的ケア児の主治医との連絡調整、医師指示書等に対する助言
- 救急蘇生法勉強会や人工呼吸器その他医療機器に関する研修会等のオンデマンド開催
- 医療的ケア児の通う普通小学校、特別支援学校への定期巡回指導 等

■医療的ケア児を新たに受け入れようとする事業所等へのサポート

- 事業所の環境整備や職員配置、感染対策など体制整備に向けた助言
- 医療的ケアに係る技術的な指導
- 医療的ケア児の主治医や訪問看護ステーション等との連携に向けた支援
- 医療型特定短期入所事業所での見学/研修受け入れ
- 普通小学校へ入学を希望する医療的ケア児の入学前支援者会議への参加 等

■医療的ケア児を新たに受け入れた事業所等のフォローアップ

- 医療的ケア児の受け入れ状況の確認
- 継続的な受け入れ実施に向けた助言/相談対応 等

■その他

- 医療的ケア児家族から相談があった場合にも対応(自宅への訪問相談含む)
- 市内各区担当者(母子保健担当保健師等)からの相談にも対応
- 特別支援学校における医療的ケア児受入体制構築に関する教育委員会の会議に参加
- 特別支援学校における医療的ケア実施ガイドライン策定への助言 等

活動の成果

- 医療/保育/福祉/教育等の支援者に対する領域横断的支援体制を確保
- 地域で医療的ケア児を受け入れていく環境整備に貢献
- 専門性の問われる事例についても対応が充実
- 行政における支援体制整備への専門的助言
- 医療的ケア児家族に対する自宅訪問も含めた直接相談体制の確立 等

活動に係る課題

- 関係機関との連携強化
(個別の相談対応を通じた連携だけでなく、日頃から連絡を取り合う関係性作りの構築等)
- 医療的ケア児の受け入れが進まない領域への関与
- 他の支援策との協働・連携・役割分担

自治体における今後の施策展開方針

- 医療的ケア児支援検討会の議論等を通じて、より一層の支援体制の確立を目指す。